

需要予測モデルの 使い方と実践セミナー

～製造業のための需要予測手法の習得と活用ポイント～

開催日時	2026年 6月23日(火)	オンライン	
	2026年12月 2日(水)	オンライン	各回とも 10:00～17:00
対象	<ul style="list-style-type: none"> 生産管理部門・製造部門の中堅社員、マネジャー、スタッフの方 製造業の販売・マーケティング部門のスタッフ、リーダー、管理者の方 生産管理改善推進担当の方 OJT指導・インストラクターの方 		
講師	松井 順一 氏 コンサルティング(株) 代表取締役	参加料(税込)	法人会員：60,500円/1名 会員外：71,500円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。


ねらい

顧客要求の多様化、商品ライフサイクルの短期化などによって需要変動の拡大と短サイクル化が進み、製造業においても需要予測の必要性が高まっています。また、販売と製造が直結したビジネスモデルの進展や、製造プロセスの一体的管理の必要性拡大などにより、日々、変動する需要に連動して需要予測のリアルタイムデータと生産管理の連動化も必要となっています。

本セミナーでは、製造業の生産管理能力を高めるさまざまな需要予測モデルと手法、製造における活用方法を事例と共に具体的な手順・方法を習得していただきます。

参加者の声

- 個別質問に丁寧に答えていただけたことがありがたかった。
- グループディスカッションが多く、他の業種の課題や現状を知ることができた。
- 実際に分析や要因検討の難しさも体験でき、大変参考になった。
- 事例を元に説明していただき、より身近にシンプルに考えることができた。大変分かりやすかった。

 Excelのデータ分析機能を使った需要予測の計算をします。
Excelアドインの設定で「分析ツール」をオンにしてご受講いただけます。

■ プログラム	1日 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00
<p>1 製造業における需要予測の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求の多様化と多品種少量化による影響 市場環境の変動因子の増加 EC等によるリードタイム短縮要求 <p>2 製造業の需要予測の活用ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要予測と在庫計画 需要予測と生産リソース計画 需要予測とSCMの連動化 <p>3 製造における需要予測の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要予測を組み込んだ生産モデル 需要予測方法の違いとポイント(経験知からの予測、統計的予測、機械学習による予測、市場調査からの予測) 変動モデルの違いとポイント(トレンド、季節変動、循環変動、不規則変動) 生産計画を高める需要予測の活かし方(需要予測が外れることも重要な情報) 需要予測精度を高めるために必要なこと <p>演習 需要予測を組み込んだ生産モデルを作成してみよう</p>	<p>4 需要予測の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要予測モデルの違いと選択(時系列分析、移動平均、指数平滑法、回帰分析) 需要予測を失敗しないデータの集め化方 予測精度の評価方法とポイント(平均誤差: ME、二乗平方根誤差: RMSE、平均絶対誤差: MAE) 実績からの需要予測の学習サイクル <p>演習 EXCELで需要予測をしてみよう ① > データから需要予測モデル毎の違いと分析をしてみよう</p> <p>演習 需要予測をしてみよう ② > 予測精度を高める因子を検討してみよう</p> <p>演習 EXCELで需要予測をしてみよう ③ > データから需要予測式と予測精度を評価してみよう</p> <p>5 AIを使った需要予測</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを使った需要予測とは AIを活用するためのポイント

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

